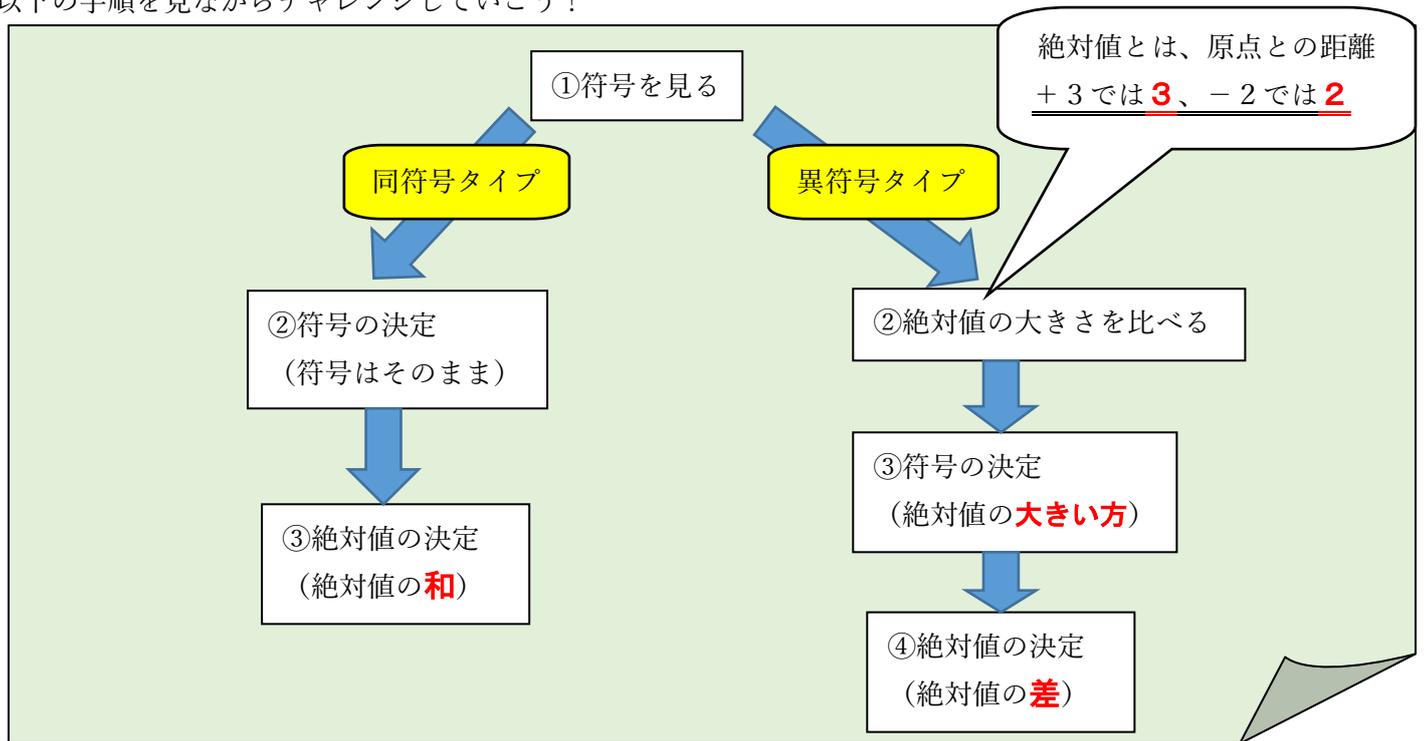


正負の数の計算の仕方(加法)

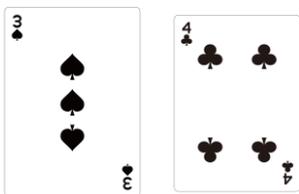
正負の数の加法の計算は、**符号の決定**後に絶対値の**和**か**差**を求めることで計算が完了します。

以下の手順を見ながらチャレンジしていこう！



トランプを使った例 (黒は正の数、赤は負の数)

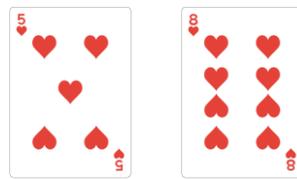
同符号タイプ



②符号の決定
(符号はそのまま)

$$(+3) + (+4) = +(3+4) = +7$$

③絶対値の決定
(絶対値の**和**)

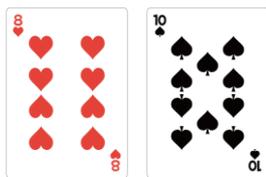


②符号の決定
(符号はそのまま)

$$(-5) + (-8) = -(5+8) = -13$$

③絶対値の決定
(絶対値の**和**)

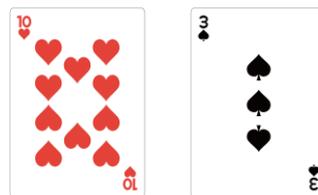
異符号タイプ



③符号の決定
(絶対値の**大きい方**)

$$(-8) + (+10) = +(10-8) = +2$$

④絶対値の決定
(絶対値の**差**)



③符号の決定
(絶対値の**大きい方**)

$$(-10) + (+3) = -(10-3) = -7$$

④絶対値の決定
(絶対値の**差**)